

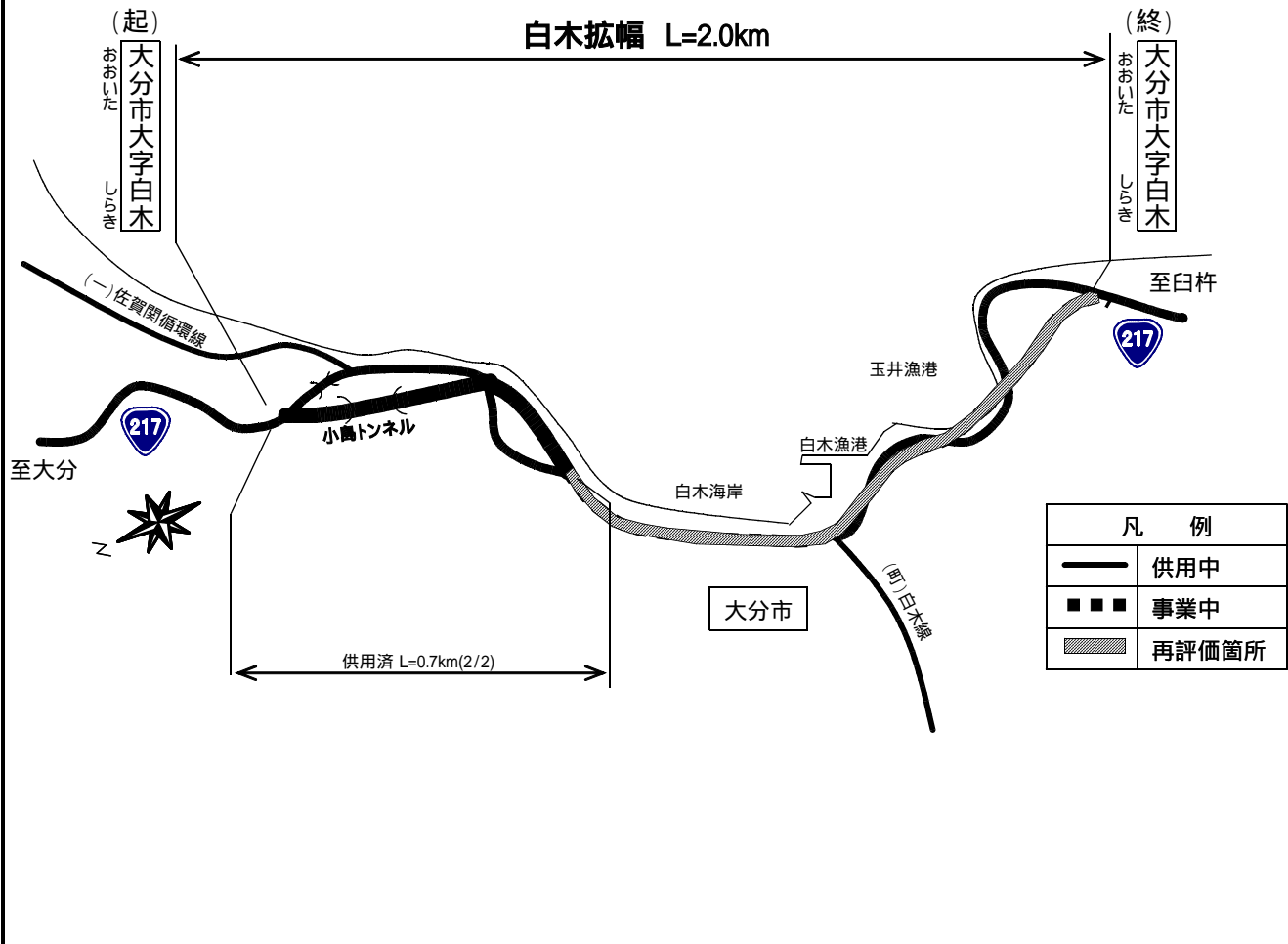
再評価結果（平成17年度 事業継続 箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道217号 白木 ^{しらき} 拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	大分県
起終点	自：大分市大字白木 ^{おおいた しらき} 至：大分市大字白木 ^{おおいた しらき}		延長	2.0 km		
事業概要	<p>一般国道217号は、大分県大分市^{おおいた}を起点とし、大分県佐伯市に至る延長約6.8 kmの幹線道路である。白木^{しらき}拡幅は、大分市白木地区の幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長2.0 kmの2車線道路である。平成2年度に事業着手し、平成15年度までに用地買収及び改良工事を推進し、白木地区の0.7 kmを部分供用している。平成16年度は白木海岸付近の改良工事を推進している。</p>					
H2年度事業化			H3年度用地着手	H4年度工事着手		
全体事業費	4.7億円	事業進捗率	53%	供用済延長	0.7 km	
計画交通量	6,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 18/20 億円 （事業費：16/18 億円 維持管理費：2/2 億円）	総便益 (残事業)/(事業全体) 21/21 億円 （走行時間短縮便益：21/21 億円 走行費用減少便益：0/0 億円 交通事故減少便益：0/0 億円）	基準年 平成16年		
感度分析の結果	<p>残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.3(1.2)(交通量+10%) B/C=1.0(1.0)(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.1(1.0)(事業費+10%) B/C=1.3(1.2)(事業費-10%)</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 現道等における、大型車のすれ違い困難区間を解消する。 					他5項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	特になし					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>愛媛県への国道九四フェリーが近接しており、近年、利用者も増え便数も増加している。また、合併により大分市となった旧佐賀関町と臼杵市街地を結ぶ唯一の路線である。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>事業期間は長期にわたっているものの、全体延長L=2.2 kmのうち、平成15年度末までに小島トンネル部を含むL=約0.7 kmを部分供用している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>用地交渉の難航から事業進捗が遅れていたが、現在では順調に進んでいる。</p>					
施設の構造や工法の変更等	トンネルがあるものの特別難易度の高い構造物等はない。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。